

仕 様 書

品名：D 型終端クランプ

品番：D-END-JP

JAPPY

因幡電機産業株式会社

1. 適用範囲

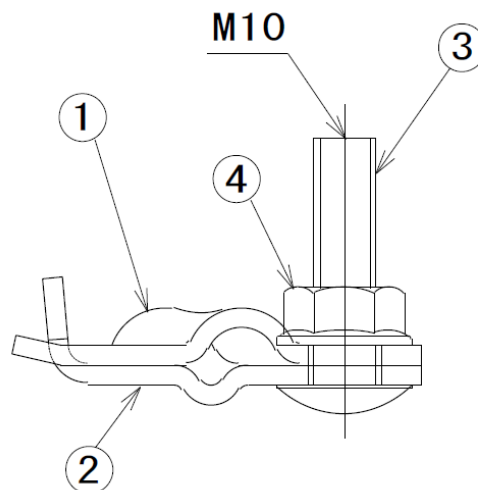
本仕様書は架空通信ケーブルの吊架に使用するラセンハンガーと鋼より線(メッセンジャーワイヤー)を固定する場合に使用する D 型終端クランプについて適用する。

2. 品番

品番	適用鋼より線	適用範囲 (公称断面積 sq)
D-END-JP	被覆なし	18～90
	被覆あり	14～38

3. 材料

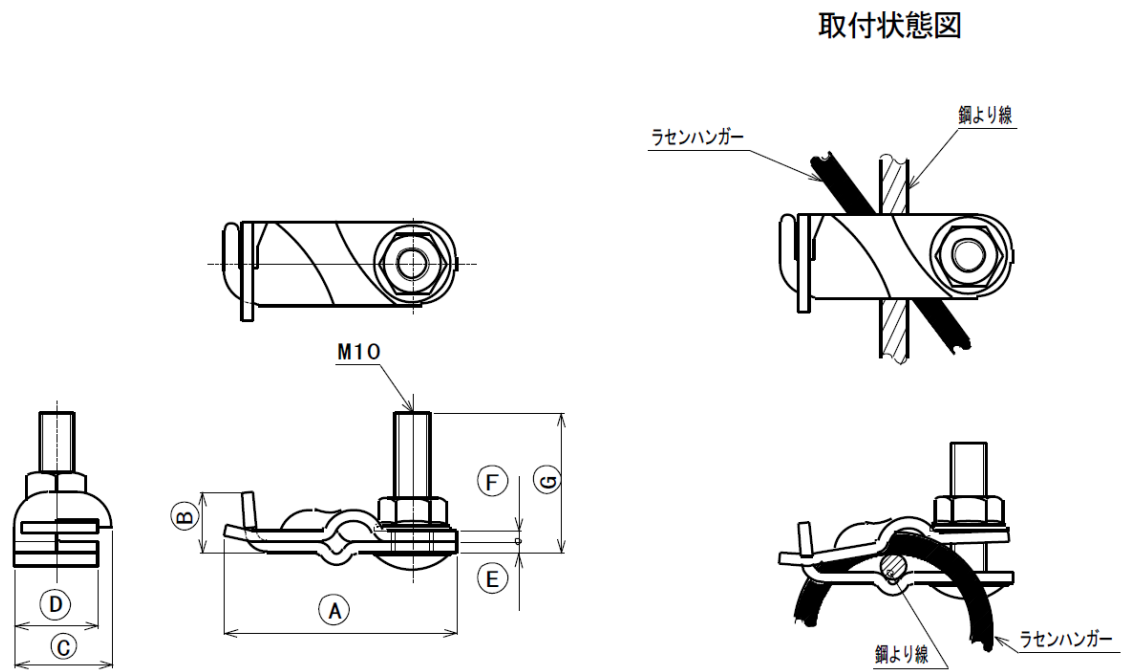
D 型終端クランプに使用する材料は、下表の材料又はこれと同等以上の材料を用いる。



部 品 名	材 料 名
① 上 部 板	一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)に規定する SS400 又は、これと同等以上の性能を有する材料を使用し、全面に溶融亜鉛めっきを施す。
② 下 部 板	
③ ボ ル ト (角根丸頭ボルト M10×40)	冷間圧造用炭素鋼—第2部:線(JIS G 3507-2)に規定する SWCH10R 又は、これと同等以上の性能を有する材料を使用し、全面に溶融亜鉛めっきを施す。
④ ナ ッ ト (フランジ付き六角ナット M10)	

4. 形状および寸法

D 型終端クランプの形状および寸法は、下図のとおりとする。



	寸法規格
A	67±2
B	17.5±1
C	28±1
D	24±1
E	3.2±0.5
F	3.2±0.5
G	40 ⁺⁴ ₋₂

5. 性能

項 目		規 格	試験方法適用項
完 成 品	外 観 試 験	使用上有害な、ヒビ、ワレ等が無いこと	6-1
	構 造 試 験	規定寸法であること	6-2
	亜鉛めっき 付着量試験	上部板	6-3
		下部板	
		ボルト ナット	
品	掌 握 力 試 験		6-4
	ラセンハンガーに196N{20kgf}の荷重を1時間加える。 ラセンハンガーが抜けないこと、その他 使用上支障となる異常が無いこと		

6. 試験項目及び試験方法

6-1. 外観試験

完成品について、目視により仕上げ、表示など外観について行う。

6-2. 構造試験

完成品について目視及び適当な度器を用い、5 項の事項について行う。

6-3. めっき付着量試験

亜鉛めっき付着量試験は、JIS H0401(溶融亜鉛めっき試験方法)の付着量試験方法もしくは磁力式厚さ試験方法(下記、計算式)にて行う。

$$A = 7.2 \times t$$

A : 亜鉛付着量(g/m²)
7.2 : めっき皮膜の密度(g/cm³)
t : めっき厚さ(μm)

6-4. 掌握力試験

鋼より線とラセンハンガーを D 型終端クランプにて取付け、鋼より線に水平にラセンハンガーに 196N(20kgf)の荷重を 1 時間加える。

尚、ナット締め付けトルクは 14N・m(1.4kgf・m)とする。